

長野県飯田市

広報いいだ

2005(平成17年)

11.1

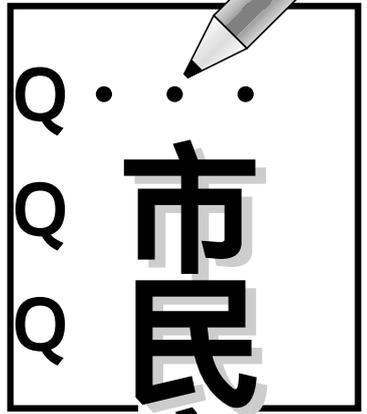
No.804 毎月1日・15日発行



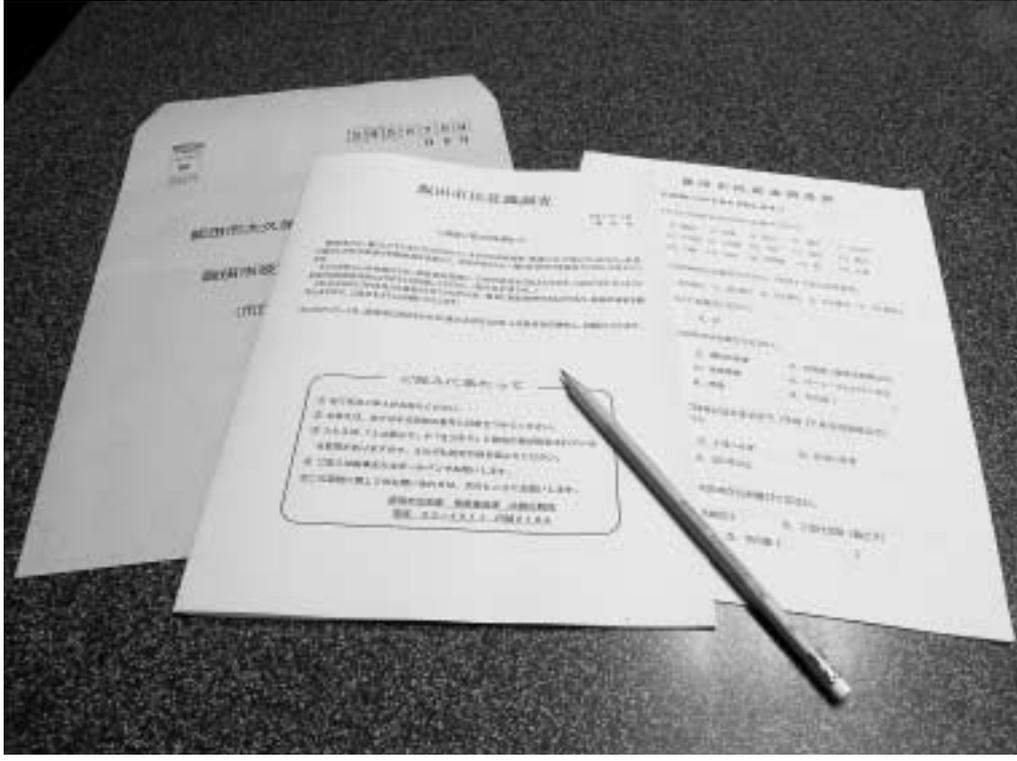
特集

市民意識調査を実施しました
平成16年度決算を公表

第1回全日本実業団サイクルロードレースin飯田
己の技と精神力で
限界に挑む選手たち
豊かな自然と応援が
熱い心を刺激する



市民意識調査を実施しました

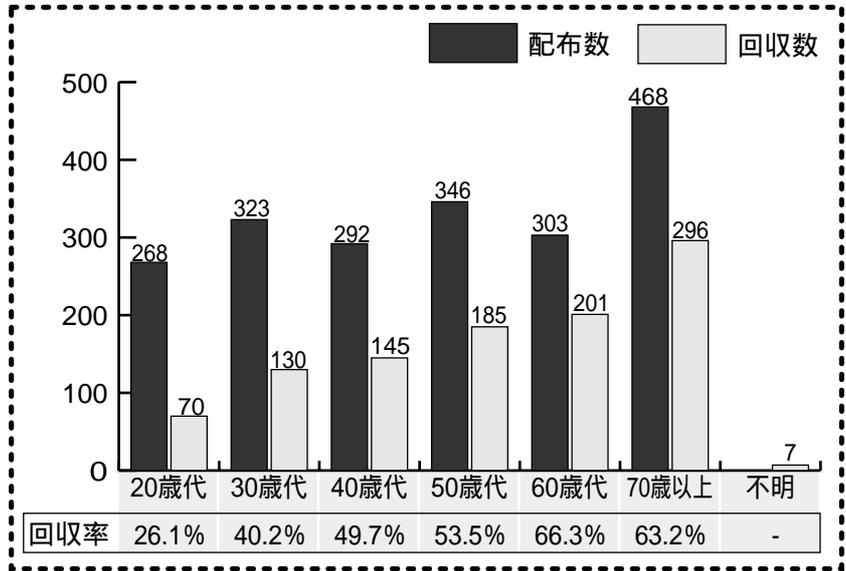


「市民意識調査」は、「暮らしやすいまちづくり」に向けて、市の政策や施策について感じていること、皆さんの生活実態などをお聞きし、市政運営に用いる重要な基礎資料とするために実施しました。今回の特集では、調査結果を抜粋して報告します。

意識調査の概要

- 調査の対象 5月1日現在、市内在住の満20歳以上の男女
- 調査対象者数 2,000人
- 抽出方法 住民基本台帳から、地区別、男女別、年齢別人口比率を調整して無作為抽出しました。
- 調査時期 6月1日～21日
- 設問項目数 27問
- 調査方法 郵送による
- 回収結果 有効回収数1,034人
回収率51.7%
- (男460、女571、不明3)

年代別回収状況



問合せ
情報推進課 広報広聴係
☎0265(22)4511
内線2124



Q...自治会や公民館などのまちづくり活動をどのくらい行っていますか？

平成6年8月の意識調査と直接比較はできませんが、当時の町内会や自治会活動への参加が66%、公民館活動が49%であり、今回の調査では、全体で、年に数回程度以上の活動への参加割合は50.5%でした。

全体

自治会や公民館などのまちづくり活動をどの位行っていますか

ほぼ毎日行っている	0.3%
週に1回程度行っている	4.3%
月に1回程度行っている	15.8%
年に数回程度行っている	30.0%
ほとんど行っていない	40.4%
不明	9.2%

6年8月調査

公民館活動の参加状況

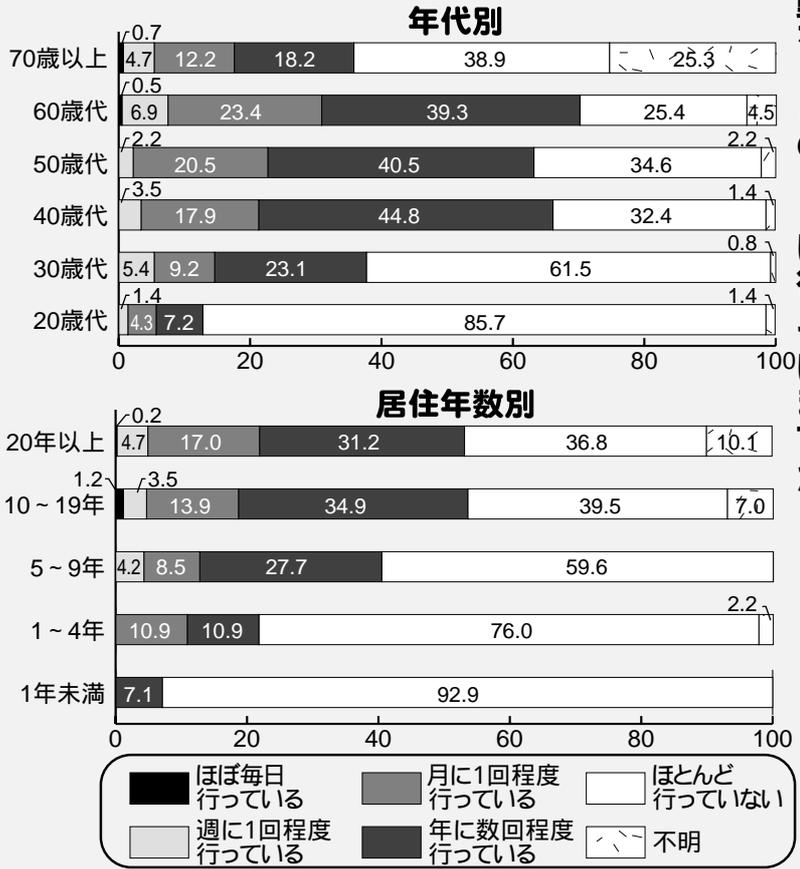
積極的に参加	11%
ときどき参加	38%
参加していない	47%
不明	5%

町内会・自治会活動の参加状況

積極的に参加している	20%
ときどき参加している	46%
参加していない	29%
不明	5%

年代別では、年に数回以上活動している方の割合は、40歳代から60歳代が60%を超える高い値が出ています。20歳代は12.9%という結果になりました。

また、居住年数別に見ると、1年未満の方は、「年に数回」行っている方が7.1%にとどまっていますが、居住年数が増えるにつれて、活動を行う頻度があがることかわかります。



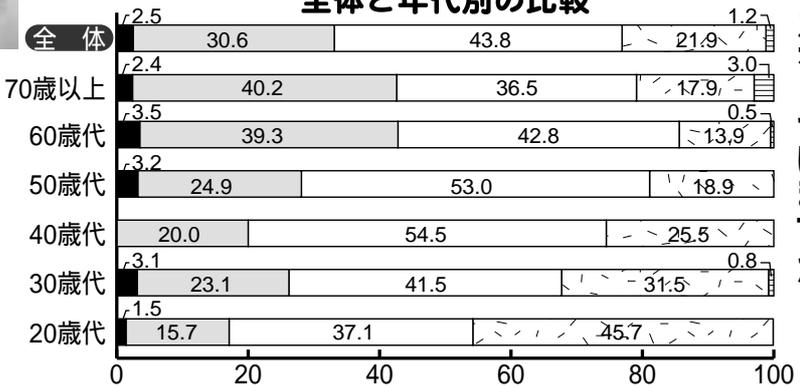
Q...地震・火災・豪雨などの災害に対して備えをしていますか？

年代別に見ると、備えをしている割合が高い60歳代の方でも、「充分備えをしている」「どちらかといえば備えている」方を合計すると、33.1%という結果になりました。

全体で「充分備えをしている」「どちらかといえば備えている」といえる方を合計すると、33.1%という結果になりました。

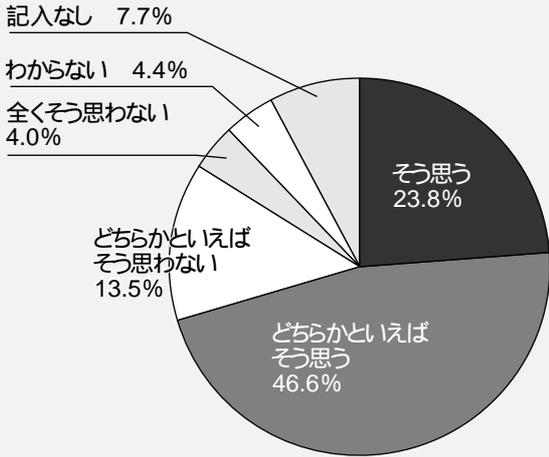


全体と年代別の比較

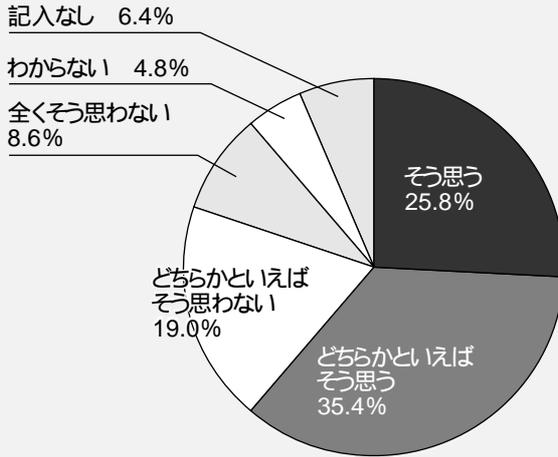


Q... あなたの地区には美しい景観があると思いますか？
 Q... 飯田市は山や川などの自然環境が豊かに残されていると思いますか？

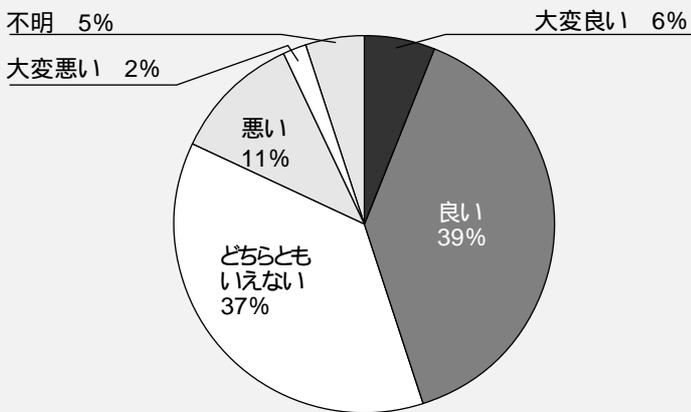
自然環境が残されている



美しい景観がある



「まちなみや景観の美しさ」平成6年8月調査

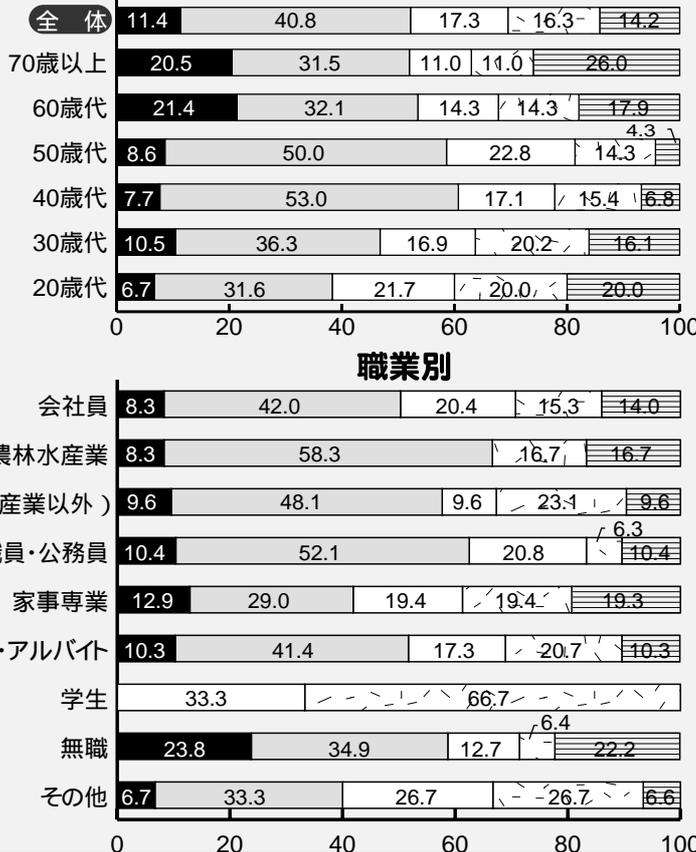


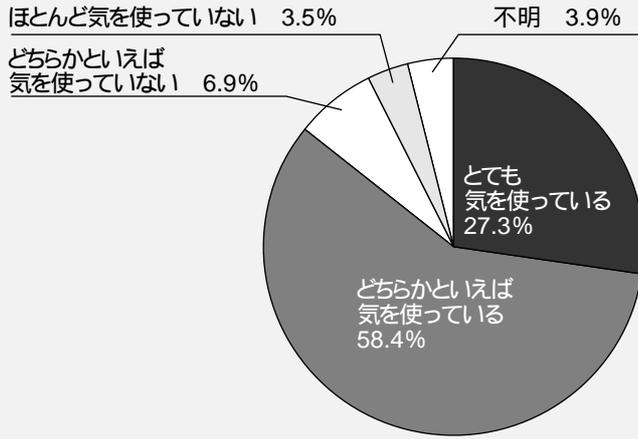
「美しい景観があると思いますか？」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は61.2%、「山や川などの自然環境が豊かに残されていると思いますか？」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は70.4%にのびりました。左グラフの平成6年の調査と比べると、「景観」に対する意識の変化がうかがえます。

Q... 飯田市は子育てしやすい環境（育児や保育など）のまちだと思いませんか？

全体と年代別の比較

子育てを経験した方や、現在子育て中の方に限定した質問です。全体では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は52.2%となりました。子育てがしやすいと思う割合が一番少ないのは20歳代で、続いて30歳代となりました。また、職業別に見ると、家事専業の方が、「子育てをしやすい」と思う割合が最も少ないことが分かりました。





省エネやリサイクルに取り
組むなど環境に気を使った
生活をしていますか？

左に示したグラフが示すとおり、
環境に「とても気を使っている」
「どちらかといえば気を使っている」
と答えた方は、合計で85.7%
ののぼりました。これまでの環
境への取り組みの結果が現れて
いるものと思われれます。

住みやすい飯田市としていくために、今後どの
ようなことに力を入れていけば良いと思いますか？

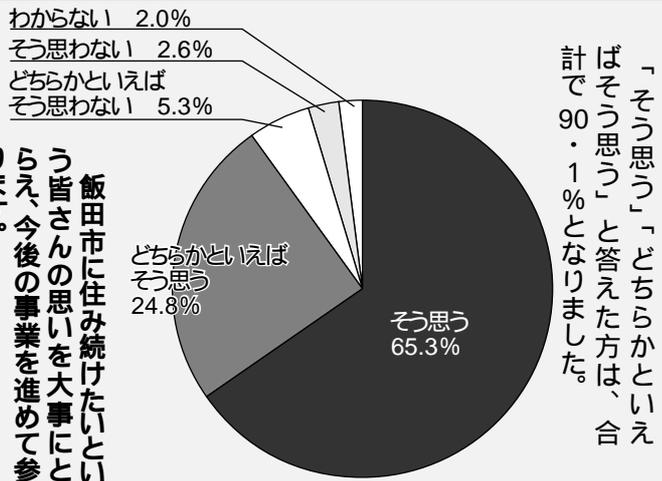
下記19項目中、5つまで
複数回答で選んでいただき
ました。上位5項目の中に
は、今年度重点としている、
産業振興・防災対策・子育
て支援が入りました。
年代別に見ると、
60～70歳代が「高齢者
福祉や介護制度の充実」
続いて「医療と救急体制
の充実」を要望しています。
40～50歳代は、「高齢者
福祉や介護制度の充実」
の次に「産業づくりと雇
用対策の推進」の要望が
高く、続いて「医療と救
急体制の充実」があげら
れています。
20～30歳代は、「保育や
子育て支援対策」、「公園
や子どもの遊び場の設置」
続いて、「高齢者福祉や介
護制度の充実」の要望が
多い結果となりました。
地域別では、どの地域も「高
齢者福祉と介護制度の充実」
が1番多く、次に多い要望
が、橋北・橋南・羽場・丸
山・東野地区では「中心市
街地の活性化」で、下久堅・
上久堅・龍江・千代地区で
は「道路・河川の整備」と
なり、地域性が表われた結
果となりました。

集会所等「コミュニティ」施設の整備
高齢者福祉や介護制度の充実
障害者福祉の充実
保育や子育て支援対策
医療と救急体制の充実
心と体の健康づくり
下水道の整備
産業づくりと雇用対策の推進
エコツーリズムなど観光の振興
中心市街地の活性化
道路・河川の整備
公園や子どもの遊び場の設置
地震などの防災対策
日常の防犯対策
公民館等生涯学習の推進
小中学校の教育環境の充実
芸術・文化活動の充実
ごみ廃棄物対策の推進
身近な自然環境の保全
エネルギー対策の推進
文化・スポーツ施設整備
歴史や風土をいかした景観づくり
公営住宅整備

力を入れるべきとされた
上位5項目

- 第1位 高齢者福祉・介護
- 第2位 医療と救急体制
- 第3位 産業づくり、雇用対策
- 第4位 地震などの防災対策
- 第5位 保育・子育て支援

これからも飯田市の
住み続けたいと思いますか？



飯田市に住み続けたいとい
う皆さんの思いを大事にと
らえ、今後の事業を進めて参
ります。

調査結果の
活用と今後の展開

市民意識調査結果の全項目は市ホームペ
ージ (<http://www.city.fidajima.nagano.jp/ouhoushin/>)
のほか、市役所行政資料コーナーでもご覧
いただけます。
この調査の結果は、事業を行う目標設定
のための資料として使用していきますが、
これら事業の詳細は、今後の広報いいたや
市のホームページで公表していきます。
今後も、継続的に市民意識調査を実施し
ます。皆様のご協力をお願いします。

三位一体の改革

「三位一体の改革」とは、国の財政構造改革の1つで、「国庫補助負担金の改革」「税源の移譲」「地方交付税の改革」の3つを一体的に進め、自主的で自立的な地方行財政システムの確立を目指すものです。

16年度においては、公立保育所の国庫負担金等が廃止され、その分は普通交付税措置となりました。所得譲与税などの創設によって税源移譲も進みつつありますが、改革の動向は地方財政を大きく左右するものと思われます。



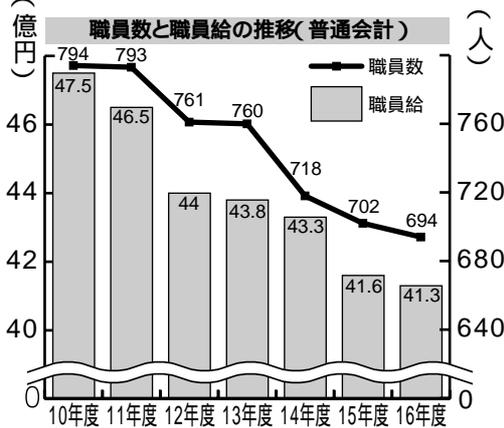
生活と環境まつりでの「サイエンスショー」
(環境と経済の好循環のまちモデル事業)

行財政改革の状況

国や県に先んじて平成10年度から取り組んできた財政改革は、昨年に引き続き一定の成果を収めています。まず、7年連続して行ってきた繰上償還の効果によって起債残高がピーク時より59億円減少し約402億円になりました。次に人件費においても、平成10

年度から16年度までに職員を100人減らしたほか、固定的経費である職員給与費の削減も行いました。(普通会計決算統計より)

しかし、国庫補助金の見直しや交付税改革、本格的な景気回復の時期も読みきれないなど、歳入については厳しい見通しが続く状況です。さらに、歳出全般にわたり縮減できる要素が少なくなるなど、財政状況の硬直化も見られます。今後も地域の自立化にむけて、市民要望に対応しながら、持続可能な財政運営ができるよう、引き続き行財政改革をすすめていきます。



会計別の収支

単位：万円

会計名		歳入決算	歳出決算	
一般会計		399億144	389億9,361	
特別会計	国民健康保険特別会計	74億2,489	69億7,353	
	事業勘定		49	
	直診勘定	49	49	
	老人保健特別会計	104億9,845	104億9,845	
	介護保険特別会計	67億9,900	67億9,371	
	地方卸売市場事業特別会計	1,653	1,536	
	駐車場事業特別会計	6,834	6,806	
	墓地事業特別会計	2,252	2,155	
	簡易水道事業特別会計	9億3,865	9億1,640	
	農業集落排水事業特別会計	3億9,389	3億9,129	
	下水道事業特別会計	50億9,184	50億995	
	介護老人保健施設特別会計	2億6,161	2億5,095	
	特別養護老人ホーム特別会計	10億453	9億2,948	
	病院事業会計	収益的収支	91億917	99億6,386
		資本的収支	9億7,218	18億9,328
市立病院		収益的収支	82億2,883	89億5,339
		資本的収支	8億5,308	16億5,276
高松分院		収益的収支	8億8,034	10億1,047
		資本的収支	1億1,910	2億4,052
水道事業会計	収益的収支	16億820	13億7,602	
	資本的収支	2億1,340	7億1,225	
計		444億2,369	458億1,463	
合計		843億2,513	848億824	

収益的収支・・・いわゆる営業などに係る収支です。
主なものは料金収入や職員給与などです。
資本的収支・・・施設の建設などに係る収支です。
施設建設のための補助金や地方債、建設費や地方債元金の償還金などです。

企業人材確保住宅を整備



住宅内部

問合せ 財政課
☎0265(22)4511 内線2231

平成16年度決算を公表

一般会計の歳出決算額は3年連続減少し、前年度比0.5%減の372億円

国の「三位一体の改革」の実質的初年度となった16年度は、不透明な歳入の動向を見極めながら、産業振興や福祉に力点を置いた施策を行いました。市民の皆さんに関心の高い職員給与費や、次世代への負担である起債（借金）の残高も、減らすことができました。しかし、依然厳しい状況の中で、さらなる行財政改革が求められています。

今回の特集では、平成16年度の決算の状況と、行財政改革の取り組みについて報告します。

歳入

文中の比較は前年度対比

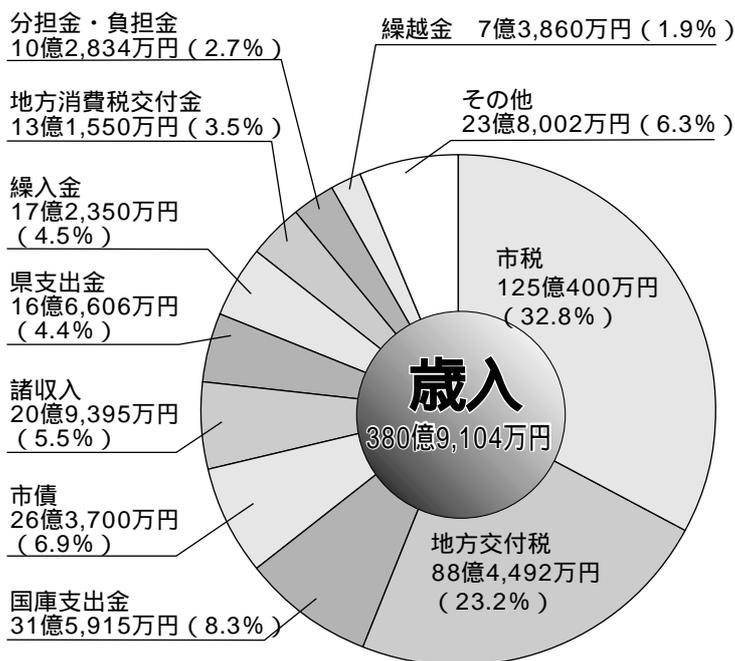
最も大切な収入源である市税は、1.1%減の125億400万円となりました。これは、一部の企業業績が回復したことから、法人市民税で9.0%増加したものの、個人市民税が課税所得の伸び悩みにより8.2%減少したためです。個人市民税は7年連続の減少となっています。

また、地方交付税は1.5%減、交付税の一部を振り替えた臨時財政対策債（ ）は29.5%減となり、この2つを合わせた広い意味での交付税でも、6.7%の減額となりました。

（減税補てん債の借換分等18億1,040万円は特殊要因のため除いてあります）

臨時財政対策債

従来、交付税特別会計で借入し交付税として交付されていたものを、赤字地方債として市が発行しているものです。この元利償還金は全額、後年度交付税で措置されます。

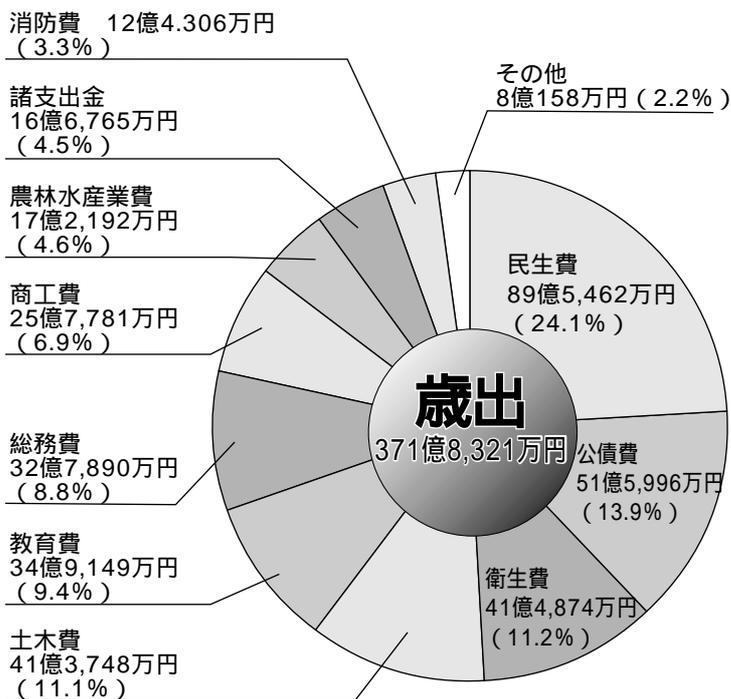


歳出

文中の比較は前年度対比

産業振興の取り組みとして、環境省の補助事業「環境と経済の好循環のまちモデル事業」（3年間の補助金総額5億円）の対象地域に選ばれ、市民出資による太陽光発電システムの設置や自然エネルギー推進などを展開しました。また、優秀な研究者・開発者を当地域に誘導するために住まいを提供する企業人材確保住宅を、竜丘地区に9戸整備しました。

福祉の面では、座光寺・大堤保育園を統合した座光寺保育園建設、児童手当の支給対象拡大（義務教育就学前 小学校3年生）や、障害者支援費の増加を含む民生費が10.4%と大幅に増えました。



松尾小学校を増築



合併記念式典 「新飯田市」誕生を祝う



明日を担う子どもたちの歌声が響く



合併を迎え、牧野市長が式辞を述べる

10月1日、飯田文化会館で開催。

牧野市長は、「上村・南信濃村との合併は、大変意義深く、この合併により、今まで以上に多様性をもった市が誕生した。合併して『良かった』と言われるよう、全力を尽くしたい」と述べました。式典後、遠山の霜月祭などが披露され、最後に、追手町・上村・和田小学校の児童をステージに迎えての全体合唱。元気な歌声と共に、新飯田市がスタートしました。

全日本実業団サイクルロードレースin飯田 感動ふたたび



集団で駆け抜ける選手たち

10月16日、龍江、千代地区で行われました。高低差のあるコースをものともせず駆け抜けていく選手たちに、沿道に集まった皆さんからは、惜みない拍手と声援が贈られていました。

英ナショナル・トラスト協会ピーター・ニクソン氏の講演

10月8日～9日、「持続可能な地域・支援する仕組みとは」をテーマに、講演会やシンポジウムなど、さまざまな催しが飯田市公民館、大平宿で行われました。私たちが目にする自然、歴史的な景観を地域の財産ととらえ、未来へとつないでゆくことが必要だと確認する機会になりました。

シティアングル

日独地域国際化サミット 地方都市自立への戦略



アレクサンダー・ヴェツィヒ氏(ウルム市副市長)

10月6日～7日、経済的にも文化的にも自立をしている環境先進国ドイツのウルム市をはじめ、さまざまな地域づくりや先駆的な地域経営を行っている地域や機関の代表者をお招きし、開催しました。

持続可能な地域社会をつつていく道を幅広い視野から検討し、これからの飯田市を持続的に発展させるための第一歩を歩み出しました。



パネルディスカッション風景

風越登山マラソン 雨の山道にチャレンジ



今宮球場をスタート

10月10日(体育の日)今年もみんなで走ろう大会とあわせて開催しました。当日は途中から雨が降り、あいにくの天候でしたが、市内外約400人の参加者が自慢の健脚を競い合いました。

ナショナル・トラスト全国大会inいいだ 未来の子どもたちのために



大平宿「紙屋」でのトークセッション風景

現代版

養生訓

マンモトーム®生検

近年、マンモグラフィ検査（乳腺X線検査を用いた検診のこと、通常40歳以上の人を対象に2年に一度行われています）の普及に伴い、手で触っても確認できないX線上の異常な影が発見されることが多くなってきました。

断された患者さんにとっては大変な侵襲となっていたことは否めません。

1995年アメリカで発売されたマンモトーム®（吸引装置を接続した経皮吸引式乳房生検システム）は、

小さな皮膚切開から一度専用の針を刺すだけで診断に必要な量の組織を採取でき、しかも針を刺した周囲360度方向の組織を採取できるといった利点があります。

このマンモトーム®を用いた生検は、通常マンモグラフィ撮影装置あるいは超音波検査装置を使い病変を画像で確認しながら行います。まず、画像により針を刺す位置を決め、局所麻酔下で吸引機構のついた専用の針を一度挿入し、吸引を行いながら、病変が疑われる組織を切離します。切開はとても小さい（4mm程度）ため、切開創の縫合は必要なく、検査終了後細いテープで固定し、その上に出血

防止のため厚くしたガーゼを弾力テープで翌日まで圧迫固定します。この手技は外来で行われ、通常1時間以内で終了します。

日本では1996年に発売が開始され、2004年4月1日の診療報酬改定において、「乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術」が新たな保険適用術式となったことにより、当科でも2004年7月にこの生検システムを導入しました。日本でも近い将来、欧米同様マンモトーム®生検が非触知乳腺疾患診断の主流となるものと思われれます。



市立病院 外科
新宮 聖士 医師



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265(21)1255

飯田市立病院 高松分院
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
TEL.0265(22)5060

散歩道にて

飯田市長 牧野光朗

その11 錦織りなす地域文化

10月16日、合併記念行事の一つとして「第1回全日本実業団サイクルロードレースin飯田」が開催され、全国から集まった300人以上の選手たちが秋晴れの中、龍江、千代地区に設定された天竜峡周回コースを全力で駆け抜けていきました。

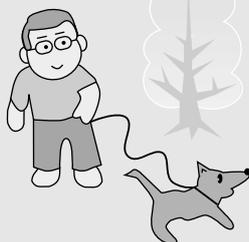
私も彼らについて周回する自動車に同乗させてもらいました。下り坂では時速80キロ以上になる自転車のスピードについて行けず、改めてこの競技の奥深さを垣間見ました。

また表彰台に立つたある選手が、「5月のツアー・オブ・ジャパン南信州ステ

ージをテレビで観て、ここで走りたいと思った。来年もぜひ来たい。」と感想を述べているのを聞き、私たちの地域は「自転車のまち」という新しい宝物を見つけたように感じました。

丁度この日の夜は、選手たちがその前を通り抜けた今田人形の館で、「ろうそく公演」もありました。和ろうそくの灯の光だけで演じられる幽玄な人形浄瑠璃を観ていると、いつしか300年前の江戸時代にタイムスリップしたかのような感覚に捕らわれました。

同じ日に同じ地域で堪能した「静」と「動」。「昔から守り伝えてきた地域の伝統文化」と「新しく地域の宝になるもの」が錦を織りなしたような1日でした。



市民のひろば

わたしのひとこと

環境意識を伝えたい

地域ぐるみ環境ISO研究会
はら ひとみ
原 瞳さん

地域ぐるみ環境ISO研究会は、1997年に私の勤務するオムロン飯田や市役所など地元6事業所で発足し、8年経った現在では30もの事業所が参画しています。環境問題は、点でなく面でやる地域活動。1つの事業所で取り組むのではなく、事業所や自治体の枠を超えて「地域ぐるみ」で行うことが大切。研究会はそんな想いを持って活動を行っています。

研究会の活動の1つとして、今年も11月5日～6日に開催される「生活と



環境まつり」への出展があります。まつりでは、研究会の活動を知ってもらう為の展示と、親子で自然と触れ合う「どんぐり・間伐材工作コーナー」が恒例になっています。このコーナーは毎年大盛況!まつりの期間中は常に工作を楽しむ親子連れでにぎわっています。

私はこの活動で工作のお手伝いをしていますが、自然の恵み、自然と触れ合う楽しさ、自然を大切にすることを子どもたちに伝えたいと思っています。その心が、子から親へ、親から子へ、人から人へ、そして地域へ、浸透していったら素晴らしいなと思います。

やなびこトースト



先月の福沢大助さん(橋南)からのリレー

今がんばっていること

しみず まさる
清水 勝さん(丸山)

わたしは仕事から、いろんな人から相談や、楽しい話など聞くことが多くあります。

お客様は十人十色、それぞれの方に少しでも勇気や希望、喜び楽しさを与えてあげられればと、毎日頑張っています。逆に、わたしが力をもらったり楽しませてもらうこともたくさんあります。

そんな、人と人との係わり合いがもっともっとできるような、昼夜問わずにぎやかな飯田の街になればいいと思います。これから先、恐らく一生この街で過ごすでしょう。一人でも多くの良き「TENDER」になれるように頑張りたいと思います。



私の夢

私の夢は、まだ定かではありません。ですが、今なってみたいと興味を持っているのは、デザイナーです。理由は2つあります。1つ目の理由は、絵をかくのが好きだからです。もう1つの理由は、自分が考えた洋服が、本当にお店で売買されるようになったら...と思うと、うれしくなるからです。実際に売買される時がきたら良いです。
この夢がかなうかどうかかわからないけど、今から洋服の絵をたくさんかき続けて夢をかなえたいと思います。



くまがいえりな
熊谷絵理奈さん
(上村小6年)

ぼくらのゆめわたしのゆめ

平成17年度市政功労者表彰

市政の各分野で顕著な功績のあつた個人や団体を表彰する市政功労者表彰式を九月三十日に行い、市長から表彰状感謝状を贈りました。

(順不同・敬称略)



当日の式典にご出席いただいた皆さん

新井 利彦	環境の改善に寄与された	松村 弘芳	育英資金として多額の寄附をされた
小林 平志	産業の振興に寄与された	株式会社長野平安閣互助会	市政発展のため多額の寄附をされた
(故) 赤羽栄一	産業の振興に寄与された	北條外商	療養環境向上のため美術品を寄附された
松村 芙美子	学校医を永く勤められた	栗原 純夫	芸術文化向上のため多額の寄附をされた
小島 重実	学校医を永く勤められた	西尾 喜好	社会福祉向上のため多額の寄附をされた
茂澤 寛	学校医を永く勤められた	野原産業株式会社	育英資金として多額の寄附をされた
木下 通博	学校医を永く勤められた	綿半ホールディングス株式会社	育英資金として多額の寄附をされた
山口 貴司	嘱託員を永く勤められた	飯伊学生防犯対策支援協会	防犯対策向上のため防犯用具等を寄附された
林 敏	嘱託員を永く勤められた	伊藤 貞夫	教育文化向上のため多額の寄附をされた
堀口 美鈴	赤十字奉仕団分団委員長を永く勤められた	高田 實	社会福祉向上のため多額の寄附をされた
服部たせ子	福祉委員を永く勤められた	株式会社南信州新聞社	芸術文化向上のため多額の寄附をされた
澤柳 昇	福祉委員を永く勤められた	木下 長志	育英資金として多額の寄附をされた
田中 久	福祉委員を永く勤められた	仲村 良一	芸術文化向上のため美術品を寄附された
中島 達之	福祉委員を永く勤められた	安藤 岬	芸術文化向上のため美術品を寄附された
塩澤 芳彦	福祉委員を永く勤められた	北村 輝子	療養環境向上のため美術品を寄附された
玉置 嘉治	消防団長を永く勤められた	株式会社一真堂	教育文化向上のため多額の寄附をされた

かさこ子どもの森公園通信

これからの予定



「人形劇団京芸の
ぼかぼかクリスマス」
12月4日(日)
人形劇 おいで館 13:00 開場
「おれはママじゃない」ほか
ピザ作り 食の工房
10:30 ~ 12:00、
人形劇終了後 ~ 16:00まで
リース作り なかまの館
10:00 ~ 12:00、
人形劇終了後 ~ 16:00まで
参加料(3つセットで)
1人1,000円、2人1,500円
1家族3人以上2,000円
ピザ・リースは1組1つずつ。
80組限定。3歳未満は無料。
申し込みは公園事務局まで。
当日券は500円(観劇のみ)



「モンクール絵本読み聞かせ」
毎週日曜日
13:00 ~ 13:30
場所:ふくろう文庫



「木の工房体験学習」
10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 15:00
トートムボールを作ろう
11月19日(土)
廃材と自然の素材で作ります。



「森森探検隊」
13:30 ~ 15:00
集合場所:なかまの館
冬じたくの森を探検しよう
11月20日(日)
落ち葉をひろったり、冬じたく中
の虫や鳥たちをみてみよう!



「なかまの館体験学習」
10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 15:00
レインボーパレット
11月20日(日) 材料費200円
まつぼっくり工作
11月27日(日)
クリスマスツリーの飾りつけ
12月3日(土) 13:30 ~ 15:00のみ



「食の工房体験学習」
10:30 ~ 13:00
材料費100 ~ 200円
パンケーキ
11月23日(祝)
釜焼きピザ作り
12月10日(土)
材料がなくなり次第終了。



「土の工房体験学習」
10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 15:00
みんなのまちづくり
11月26日(土)、12月11日(日)
園内の自然の素材を使って、みん
なでまちを作っていきます。



「理科実験ミュージアム」
毎週土・日曜日
10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 15:00
場所:おいで館
11月12日(土)は休み。

問合せ 公園事務局 ☎0265(59)8080 FAX0265(59)8079 <http://www.dia.janis.or.jp/kazetarou/>



Pick Up

万一のための 救急救命法

(成人講座)

11月20日(日)
10:00 ~ 17:00
持ち物:筆記用具
教材費:3,500円

救命法の国際資格『メディック
ファーストエイド ベーシック』
(MFA)を取得できます。

今回は基礎編・『大人の傷病者
に対する 心肺蘇生法や止血法』
などを学びます。

「昔に習ったけど、
もう忘れてしまったよ」「いざそんな場
面に出くわしても自信がないね」そん
な方にお勧めしたい
講座です。



☑ かわらんべのメールマガジン ☑
『自然系 雑学クイズマガジン カップネット!』
登録はホームページから

これからの講座予定

(小学3年生以上)



「飯田市の気象を学ぼう」
11月19日(土) 9:00 ~ 11:00
持ち物:筆記用具



「久米川で化石探し」
11月26日(土) 9:00 ~ 11:30
持ち物:筆記用具、水筒、化石を入れる袋
動きやすい服装で参加してください。



「自然素材の柵さく作り」
12月3日(土) 9:00 ~ 15:00
持ち物:筆記用具、弁当、水筒、軍手



「オギやヨシではがき作り」
12月10日(土) 9:00 ~ 11:30
持ち物:エプロン



「ウォーキング6」(成人講座)
12月10日(土) 15:00 ~ 16:00
動きやすい服装で参加してください。



「研究員の研究」
12月11日(日) 9:00 ~ 15:00
持ち物:筆記用具、弁当、水筒

天竜川総合学習館

かわらんべ通信

申込・問合せ
天竜川総合学習館かわらんべ ☎0265(27)6115
<http://www.tenjo.go.jp/kawaranbe/>

市役所からのお知らせ

市役所の電話番号は
☎0265(22)4511です



赤線・青線の 払い下げについて

地方分権一括法の施行に伴い、これまで国有財産として取り扱われていました赤線(道路)と青線(水路)が市に譲与されました。その中には、廃道路や廃水路敷になっていたり、道路や水路の付け替えにより機能を喪失している用地もあります。

市では、このような用地と隣接する土地を一体化することで有効活用が可能となる土地の所有者に、積極的に払い下げをしています。払い下げを希望される方は、管理計画課までご連絡ください。

問合せ
管理計画課 管理係
内線2745

飯田国際交流の夕べ

日時 11月20日(日)
午後4時～7時
場所 地場産業振興センター(上郷別府)

テーマ
手をつなごう！
世界は一つ！

内容
10カ国以上の料理や文化を紹介する「ワールド縁日」と、各国の歌や踊りの出演による「ワールドステージ」を予定しています。

参加費 1,000円
(中学生以上)
チケット
市役所1階受付と、りんご庁舎3階男女共同参画課窓口にて販売。
当日、会場でも購入することができます。
持ち物 自分の食器
(コップ、皿、スプーン、はしなど)

問合せ 飯田国際交流推進協会事務局

☎0265(22)4560

FAX

0265(22)4568

Eメール

danjo@city.fid.nagano.jp

高齢者作品展と 芸能発表会

高齢者の皆さんが丹精こめて製作された作品を一堂に会して展示します。また、日ごろから励んでいる芸能の発表会も合わせて行います。

日時

作品展

・11月24日(木)

午後1時～4時

・11月25日(金)

午前9時～午後3時

芸能発表会

11月25日(金)

午前10時～午後3時

場所

作品展

飯田文化会館展示室

芸能発表会

飯田文化会館ホール

問合せ

介護高齢課 高齢者係

内線5382

第8回勤労者まつり

親子のふれあいイベントがもりだくさんです。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 11月23日(祝)

午前9時～午後2時

場所 飯田勤労者福祉センター(東栄町)

問合せ

勤労者まつり実行委員会

(産業振興支援室労政係)

内線4419

犬ねこの不妊・去勢 手術に補助します

飯伊動物愛護会が手術の補助を行います。

補助対象 飯田下伊那地域に居住する、生後6カ月以上の健康な犬・ねこ

の飼育者。犬については狂犬病予防法に基づく登録・予防注射実施済であること。

補助金額・予定頭数

不妊手術(雌)

4,000円 20頭

去勢手術(雄)

3,000円 10頭

申込多数の場合は抽選。

手術実施期間

11月28日(月)～12月9日(金)

申込方法 往復はがきに、

住所 氏名 電話番号

犬・ねこの種類 犬・

ねこの性別 犬・ねこの

年齢 犬の場合は鑑札番

号または注射済番号を記

入し郵送する。

1戸につき1通。

申込期限

11月18日(金)(必着)

申込・問合せ

〒395 0034

飯田市追手町2 678

飯田保健所食品衛生課内

飯伊動物愛護会事務局

☎0265(53)0446

合併記念
選挙啓発講演会

日時 11月24日(木)
午後7時～8時40分
(開場 午後6時30分)
場所 飯田人形劇場
講師 三遊亭らん丈師匠
(落語家 平成8年真打昇進)
演題 「民主主義をつくるのは、あなたの一票です」
問合せ 選挙管理委員会
内線5633

「共に支えあい
私を生きる」講演会

「その人らしく生きる」とは、互いに認め合い支え合うことから始まります。それができる社会にするため、わたしたちができることは何でしょうか？一緒に考えませんか。

日時 11月26日(土)
午後1時30分～3時30分
場所 伊賀良公民館
講師 船橋邦子氏(佐賀県立女性センター・生涯学習センター初代館長)
問合せ 男女共同参画課
内線5351

みんなでこころの健康を
考えるフォーラム

こころの病をもつ人が地域でふつと暮らしていくためにどうしたらよいか、地域の皆さんと一緒に考え、暮らしやすい地域づくりを目指します。

対象 精神保健福祉に関心のある方
日時 11月21日(月)
午後0時30分～4時
場所 飯田合同庁舎 3階講堂

内容 展示販売
ニーズ調査の報告
体験発表
講演会
講師 小町洋子氏(立川市福祉保健部障害福祉課精神保健担当主査)
演題「ふつと暮らす。」
その人らしく住みやすいまちづくり～立川市における精神保健福祉の取り組みから～

申込期限 11月15日(火)
申込・問合せ 飯田保健所 保健予防課
☎0265(53)0444

コンサート ア・ラ・カルト
クリスマスコンサート

地元などで活躍している演奏家の皆さんが登場する楽しいコンサートです。

日時 12月18日(日)
午後2時開演
場所 ホテル ニューシルク・ロビー
チケット 800円
(小学生以上・ワンドリック付)
11月1日発売!

出演 ベル・フレンズ(ハンドベル)、森本朝美(電子オルガン)、北林弥生・田畑綾香(ソプラノ・デユオ)、ソノール・クラリネットアンサンブル。(出演順不同)
問合せ 飯田文化会館
内線4220

動物園の
休園日

11月 4日(金)	7日(月)
14日(月)	21日(月)
24日(木)	28日(月)
12月 5日(月)	12日(月)

問合せ
動物園
0265(22)0416

三遠南信通信

三市合同企画第四十五回

二川宿本陣まつり (豊橋市)
「大名行列」11月13日(日)

豊橋市の南東部二川地区には、明治3年まで東海道の本陣職を勤めた馬場家の遺構を、江戸時代の姿に復元した二川宿本陣資料館など魅力的な場所がたくさんあります。その二川宿本陣で行われる二川宿本陣まつり「大名行列」は、名君といわれた吉田城主松平伊豆守信明(まつだいらいすのかみのぶあきら)の大名行列を再現したまつりで、今回で15回目となります。

一般公募で選ばれた雅姫・琴姫をはじめ、地元の人々が扮する松平伊豆守、若殿、近習、奴、腰元など総勢275人が、東海道五十三次33番目の宿場、二川宿で江戸時代の街道風俗絵巻を繰り広げます。

行列は、JR東海道本線二川駅前から午後1時に出発します。また、骨董市や地元中学生在が行う篠笛演奏、本陣茶屋などさまざまなイベントも開催されます。

なお、当日、豊橋市二川宿本陣資料館は入館無料となります。ぜひ、お越しください。

協賛イベント

骨董市(午前9時～)
本陣茶屋
(午前9時30分～)
篠笛演奏(午後0時45分～)
クイズ&スタンプラリー
(午前9時～)
わらざうりづくり
(午前10時～)
大名行列撮影会
(午後2時10分～)など

問合せ 豊橋市二川宿本陣資料館 ☎0532(41)8580

広報 TOYOHASHI

とよはし



モードで河川・ダム情報を知ろう

天竜川上流域 河川・ダム情報

天竜川上流域情報

天竜川上流域の雨量及び水位の状況をリアルタイムで発信中。

 <http://i.river.go.jp/>

小渋ダム・美和ダム情報

リアルタイムでダムの情報を発信中。

 <http://www.tendam.jp/imode/index.html>

釜口水門情報

定期的(1時間毎)に水門情報を発信中。

 <http://www.lcv.ne.jp/~suwa/i/>

第9回地研連シンポジウム 「伊那谷の災害」

地研連とは、当地域の自然や歴史文化について研究している団体が集まった「飯田下伊那地域研究団体連絡協議会」の略称です。

今回のシンポジウムは、近年関心が高まっている「伊那谷の災害」をテーマとして開催します。みんなで災害について考えましょう。

日時 11月20日(日)
午後1時～4時30分

場所 美術博物館

内容

基調講演

「地震と大地 伊那谷の土地の変化と人のあり方」
松島信幸氏(伊那谷自然友の会)

研究発表

「遠山地震と埋没林」寺岡義治氏(伊那谷自然友の会)

「天龍川・川路地区水防史から」今村真直氏(飯田文化財の会)

「資料に見る近世伊那谷の地震災害」吉沢明佑氏(伊那史学会)

・「天災と霜月祭」桜井弘人(柳田國男記念伊那民俗学研究所)

全体討議

問合せ

地研連事務局

☎0265(27)2028

美術博物館

☎0265(22)8118

「修験 羽黒山秋の峰」 映画会・講演会

「人は、死んで山に入り、山を胎内として再生する」
このような古代的感覚を色濃く残す羽黒修験は、中世から密教的色彩に彩られ、複雑な儀礼を発達させた人物です。

本映像作品は、羽黒修験の9日にわたる「秋の峰」を初めて記録したものと、現在たいへん話題となり、注目されています。その映画会とあわせて、監督を務めた北村皆雄氏に講演(解説)していただきます。

日時 11月27日(日)

午後1時30分～4時30分

場所 美術博物館

内容

映画会「修験 羽黒山秋

の峰」(ハイビジョン・ドキュメンタリー115分)講演会

「修験 羽黒山秋の峰について」(仮題)北村皆雄氏(映像作家・ヴィジュアルフォークロア代表)

問合せ 美術博物館

☎0265(22)8118

生活福祉資金 貸付制度について

長野県社会福祉協議会では、次の貸付制度を行っています。

生活福祉資金

所得の少ない世帯や障害を持つ方、介護を要する高齢者が同居している世帯に対して、仕事を始めるために必要な資金や住宅の増改築費、子どもの修学費、病気や介護に必要な費用をお貸しします。

離職者支援資金

失業により生計の維持が困難となった世帯に対して、再就職するまでの間の生活費をお貸しします。

長期生活支援資金

一定の居住用不動産を有し、将来にわたり、住み

本町1丁目再開発ビル
りんご庁舎2階
総合窓口なら、
お仕事の帰りに
住民票をとることができます。

りんご庁舎総合窓口では
平日 午前8時30分～午後7時
土曜日 午前10時30分～午後7時
各種証明の発行をしています

続けることを希望する高齢者世帯に対し、土地を担保に生活費をお貸しします。

貸付利子

一部資金を除いて年3%以内。

貸付条件

貸付資金によって、条件

を定めています。

詳しくはお問い合わせください。

問合せ

飯田市社会福祉協議会

地域福祉係

☎0265(53)3180

合併交流 上村・南信濃発

のりあい市政ガイド

バスに乗って、市の施設や取組などをご案内します。

今回は、合併交流企画として、上村・南信濃地区にお住まいの方を優先し、募集させていただきます。

期 日 11月29日(火)
 出発場所 南信濃自治振興センター前 8時30分集合
 上村自治振興センター前 8時50分集合
 持ち物 飲み物、筆記用具、参加費1,500円(昼食代)
 コース日程(予定)

9:50 ~ 10:40 市議会傍聴(第4回定例会)
 10:50 ~ 11:40 りんご並木、りんご庁舎
 (市街地再開発事業見学)
 12:10 ~ 13:20 温泉宿舎天竜峡(昼食)
 13:30 ~ 14:20 天竜川総合学習館「かわらんべ」
 14:30 ~ 15:30 桐林クリーンセンター
 17:00 南信濃帰着予定

定員 40人(先着順)
 申込受付期間
 11月10日(木) ~ 17日(金)
 申込方法
 参加希望の方は住所、氏名、年齢、電話番号を電話でお知らせください。
 受付時間 8:30 ~ 17:15

申込・問合せ 情報推進課 広報広聴係 ☎0265(22)4511 内線2124

登録有形文化財(建造物)の登録

9月16日に開催された国の文化審議会で、「飯田市立追手町小学校校舎」と「旧山本中学校杵原校舎」について、文化財登録原簿への登録が答申されました。

飯田・下伊那地方では今回が初めての登録になります。両校舎とも義務教育の学校として長野県内で初めての登録。旧山本中学校杵原校舎は、全国で初めて新製の中学校校舎として登録されました。

また、追手町小学校校舎は、現在使われている現役の学校校舎として、松本市の松本深志高校に次ぎ県内2カ所目の登録となりました。

追手町小学校講堂(兼雨天体操場)
 敷地の南辺東寄りに建つ鉄骨造、平屋建の昭和6年建築の建物です。鉄骨造を全く感じさせない木造の内部構成が見事です。



追手町小学校校舎
 昭和4年に建てられた鉄筋コンクリート造3階建の校舎で、昭和初期の鉄筋コンクリート校舎として意匠的に優れています。



旧山本中学校杵原校舎
 昭和24年に建てられた木造平屋建、切妻造、棧瓦葺きの建物2棟です。管理教室棟の南面の中央に寄棟造の玄関ポーチが付けられています。玄関内部の腰板にベニヤ板が使われるなど、当時の社会情勢などがよく反映されています。当時の地方における学校校舎の姿をよくとどめています。

問合せ 教育委員会 生涯学習課 ☎0265(22)4511 内線3575

飯田アカデミア 2005 下半期

「飯田アカデミア」は、歴史研究所が行う歴史をテーマにした大学レベルの講座です。各回とも専門研究者を講師に招き、歴史学研究の最前線を講義します。今年度下半期4講座をご案内します。ぜひご参加ください。

11月19・20日
(土) (日)

都市・建築にとって近代とは何であったか

講師:鈴木博之さん(東京大学教授)

ここでは近代とは何であったかを、土地のあり方、そしてそこに繰り広げられた開発のあり方を通して考えます。

1. 近代とは
2. 土地所有のあり方
3. 機能と寿命
4. 建築の保存

このテーマに沿って近代を考えてゆきたいと思っています。近代は土地を一元化し、それを所有する人々の意思に従った開発にゆだねました。しかしそこには、所有のあり方に基づいた開発の形式、開発の形式に付随する寿命、そして将来に対する洞察がさまざまなかたちで現れてきます。現在問題視されている持続可能な社会とは何かを考えながら、近代を振り返ってみたいと考えています。

1月28・29日
(土) (日)

シリーズ:古島敏雄の人と学問 戦後農地改革と古島史学

講師:岩本純明さん(東京大学教授)

戦後農地改革の一時期、古島氏は長野県下の農村を精力的に歩かれました。そこで得た知見をふまえて、戦後地主制史研究はスタートしたのです。農地改革過程で、古島氏は農村社会の何を問題としたのか?その理解から、われわれは何を学ぶべきか?本講義では、古島氏の農地改革理解を再検討するとともに、農地改革の内容、それを可能とした条件、農地改革の成果と現代的意義などを、農地改革の必要性が指摘されながら実現の難しい開発途上国の実態と比較しながら検討します。

2月18・19日
(土) (日)

貨幣から古代社会を探る

講師:三上喜孝さん(山形大学助教授)

1999年に奈良県飛鳥池遺跡で出土した富本銭とその鑄造遺物は、日本の貨幣史を塗り替える発見として大きく取りあげられました。飯田市でも富本銭が発見され、大きな話題を呼んだことは記憶に新しいところです。古代の人々にとって、貨幣とはどのような意味を持つものだったのでしょうか。この講座では、日本における貨幣のはじまりや、物品貨幣を含む古代貨幣全体を検討することを通じて、日本の古代社会の特質を考えてみたいと思います。

3月18・19日
(土) (日)

近代日本の政軍関係

講師:加藤陽子さん(東京大学助教授)

第一次大戦の衝撃や、中国との長期にわたる実質的戦争の遂行という現実的要請によって、戦前期の日本の政軍関係はいかに変容したのか。また、その変容はその後の戦争指導をいかに規定していったのか。体制変革という点で、戦争が革命を代替してきた戦前期の日本にとって、政軍関係は重要ですが、冷戦体制の崩壊後、湾岸戦争、イラク戦争を経験した世界にとっても、今なお本問題は十分検討に値します。軍による政治介入の問題は、今なお偏在する問題であるからです。

各講座とも90分間の講義を4回、2日間にわたっておこないます。

時間

1日目(土曜日) 13:30~17:00

2日目(日曜日) 10:00~14:30

1日目の開始時間を変更しました。

会場 飯田市歴史研究所 3階
(市役所上郷支所庁舎)

募集人員 各講座30人

受講料 資料代として500円(2日間分)

お申込方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所までお申込ください。

ファクシミリ・Eメールでのお申込の場合は、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

お
合
申
せ
込



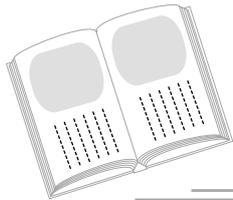
飯田市歴史研究所

定休日 日/月曜日 祝日
(土曜日は開所)

☎0265(53)4670 FAX 0265(21)1173

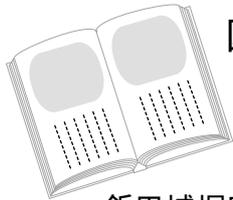
Eメール iih@city.iida.nagano.jp

ホームページ http://www.city.iida.nagano.jp/iihr/



11月26日(土)～12月4日(日)

第5回 図書館まつり



図書館特殊コレクション展

11月26日(土)～12月4日(日)
中央・鼎・上郷図書館

飯田城堀家所蔵図書のうちの数点を分かりやすく展示します。

「海上砲術全書」

江戸幕末の兵学に多大な影響を与えたオランダの兵術書の翻訳書。

「かさねのいろあい」

紙・織物などかさねの配色の趣向を賀茂真淵がまとめた書。

「本草図譜」

岩崎灌園が作った日本で最初の本格的彩色植物図鑑。

「都名所図会」

江戸時代最大ベストセラー本、京都名所案内記。

「集古十種」

松平定信編さんの博物図録集。よろい かぶと・刀剣などの実測原寸図録ほか。



「海上砲術全書」



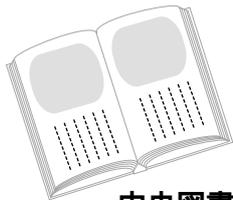
「本草図譜」



「都名所図会」



「集古十種」



特殊コレクションに 親しもう!

～子ども向けイベント～

中央図書館

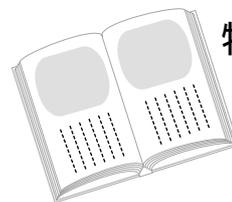
「集古十種」のかぶとを作ってみよう!
(親子対象工作教室)

11月27日(日) 午前10時30分から
写本にチャレンジ!

12月4日(日) 午前10時30分から
申し込みが必要。



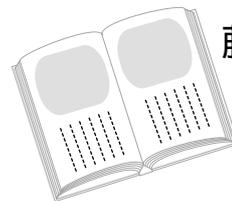
集古十種の型紙から作ったかぶと



特殊コレクション講座

11月26日(土) 午前10時30分から
12月4日(日) 午後2時から
中央図書館

職員が図書館のお宝である特殊コレクションについてお話しします。展示図書の解説もします。



藤原正彦講演会 手話あり

12月3日(土) 午後1時～3時
鼎文化センターホール

講師 藤原正彦氏

新田次郎と藤原ていを両親に持つ異色の数学者。お茶の水女子大学の名物教授。

演題 「祖国とは国語」

～日本の再生は国語力にかかっている～

チケット 500円

中央・鼎・上郷図書館、鼎公民館にて販売中。

定員 600人

託児 ご希望の方は事前にお申し込みください。

問合せ 中央図書館 ☎0265(22)0706



**飯田市立保育園
臨時・パート保育士**

応募資格
保育士資格を有する方
勤務場所
龍江保育園、上村保育園、千代保育園、その他欠員の生じた市内公立保育園。
1日当たりの勤務時間
8時間
龍江保育園
上村保育園
(原則として午後3時45分～6時15分)
2時間
上村保育園
(原則として午後3時45分～5時45分)
賃金
飯田市臨時的任用職員・非常勤職員の規定による。時給890円以上。

応募方法

市販の履歴書(写真貼付)を用意し、あらかじめ電話で日程調整したうえで、児童課(本町りんご庁舎)までお越しください。
問合せ 児童課 保育係
内線5341

自衛隊生徒

自衛隊長野地方連絡部飯田出張所では、生徒を募集しています。
自衛隊生徒は、特に技術者を養成する制度で、特別職国家公務員となり、4年の教育期間中3年で高等学校卒業資格を取得します。

受験資格 日本国籍を有し、平成18年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で、中学卒業者または中等教育学校の前期課程修了見込みの方
募集締切 1月10日(火)
第1次試験 1月14日(土)
申込方法など、詳しくはお問い合わせください。

問合せ 自衛隊長野地方連絡部飯田出張所
0265(22)2613

11/12~25 「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間

いつも彼の機嫌をそこなわないように、怒らせないように気を使っていますか。あなたが怖いと感じたらそれは暴力です。

夫からの暴力(DV)から逃れるために身の危険を感じたら、警察に駆け込むか110番する。
生活や住居についての相談先
長野県男女共同参画センター
☎ 0266(22)8822
火~土曜日 8:30~17:00
女性相談センター
☎ 026(235)5710
月・金曜日は8:30~17:00
火・水・木曜日は8:30~21:00
児童虐待 DV 24時間ホットライン
☎ 0263(91)2410



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

DV防止セミナー
講演 「DV防止の今とこれから」
対談 「DVと児童虐待をふせぐために」
日時 11月19日(土)
午後1時~3時50分
場所 岡谷市 長野県男女共同参画センター「あいとびあ」
託児は事前に申込が必要です。

問合せ 男女共同参画課 内線5351



親と子のいきいき講座

市内のひとり親家庭などの方を対象に、クリスマスケーキ作りを行います。親子で楽しいひとときを過ごしてみませんか。気軽にご参加ください。

日時 12月4日(日)
午前9時~午後1時
場所 松尾公民館

ぎやまん工房

弥生人や古墳人が身につけていたようなガラス製装身具を作ってみましょう。
対象者 小学生以上
小学生は保護者同伴。

日時 11月26日(土)
午前9時30分~11時
場所 上郷考古博物館

参加費

小・中学生400円
高校生以上500円
(材料費・入館料)
募集人数 30人
申込者多数の場合は抽選

申込方法 住所、氏名、年齢(学年・学校)、電話番号を明記の上、往復はがきにてご郵送ください。
応募締切 11月15日(火) (消印有効)
申込・問合せ 〒395 0003
飯田市上郷別府2428 1
飯田市上郷考古博物館
☎ 0265(53)3755



戦傷病者・戦没者
遺族援護相談所

戦傷病者・戦没者の遺族の方を対象にした相談所を開設します。

日ごろお困りのことがありましたらご相談ください。
日時 11月15日(火)
午後1時～4時
場所 りんご庁舎 会議室3

☎市役所への電話の掛け方

市役所の担当部署に電話が繋がります。

お知らせに記載してある4桁の内線番号をお告げください。

市役所の電話交換手ができます。

に電話します。

0265 204511

11/9~15

秋の火災予防運動

「あなたです 火のあるくらしの 見はり役」

～火の用心 7つのポイント～

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、たき火をしない。
- 5 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。

問合せ 広域消防本部予防課 ☎0265(23)6002

無料税務相談会

税理士会飯田支部では、「税を考える週間」にあわせ、無料税務相談会を行います。所得税、贈与税、消費税のことなど、お気軽にご相談ください。

相談には、厚生労働省から委託を受けた戦傷病者相談員、戦没者遺族相談員が対応します。

問合せ
福祉課 庶務係
内線5372

11月の納税

納期
11月30日(水)

税目
国民健康保険税(11月分)

納税には便利な口座振替をご利用ください

日時
11月14日(月)
午前10時～午後4時

場所
税理士会会員各事務所
問合せ
飯田税理士会事務所
☎0265(52)3090

各種相談所 相談は無料、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

相談名	日時	場所	問合せ
家庭児童相談(電話でも可)	毎週月～金曜日 9:00～17:00	りんご庁舎2階	子育て支援室 内線5348
教育相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	教育委員会棟 3階	教育相談室 内線3581 専用電話(FAX兼用) ☎0265(53)8730
行政相談	11月8日(火) 13:00～16:00	りんご庁舎3階	庶務課 内線2111
結婚相談	11月13日(日) 11月20日(日) 13:30～16:30 受付15:00まで	さんどびあ飯田 (福祉会館・東栄町) 本人の相談が原則 写真1枚が必要	社会福祉協議会 ☎0265(53)3180
こころの相談日	11月8日(火) 11月22日(火) 13:30～16:00	市役所 保健センター	保健課 内線5515 (予約制)
子育て相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	飯田中央保育園 (地域子育て支援センター)	飯田中央保育園 ☎0265(22)4133
障害をお持ちの方またはご家族の相談	毎週月～土曜日 9:00～17:45 (第1水曜日は17:15まで)	さんどびあ飯田	ハーネットいいた ☎0265(56)4474
消費者相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	りんご庁舎3階	男女共同参画課 内線5352
高齢者福祉相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	りんご庁舎2階	基幹在宅介護 支援センター 内線5384
女性の性相の相談	悩みごと	毎週月～金曜日 9:00～17:00	りんご庁舎2階 児童課 内線5347
	法律相談	11月15日(火) 13:30～16:30	りんご庁舎3階 男女共同参画課 内線5351(予約制)
心配ごと相談	特別	毎週火曜日 13:00～16:00 受付15:00まで	さんどびあ飯田 社会福祉協議会 ☎0265(53)3180
	一般	毎週月～金曜日 9:00～17:00	
国税に関する相談	12月19日(月) 10:00～15:00	市役所本庁2階	税務課 内線5141
法律相談(現在係争中のものは除く)	11月11日(金) 13:00～17:00	さんどびあ飯田	社会福祉協議会 ☎0265(53)3180 (予約制)
ボランティア相談	毎週月～金曜日 9:00～18:00	さんどびあ飯田	社会福祉協議会 ☎0265(53)3180
ポルトガル語相談	毎週火・木曜日 13:00～17:00	外国人総合相談窓口 (市役所本庁舎1階)	男女共同参画課 内線5351

市長の留守番電話 ☎0265(23)8181 市民の皆さんのご意見ご相談をいつでも受け付けます。

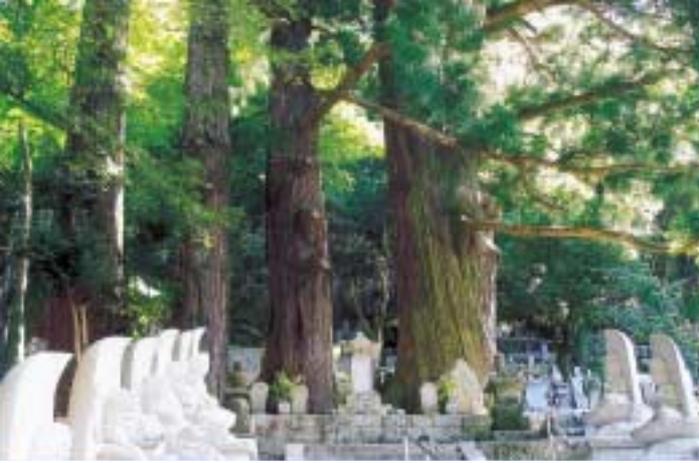
遠山郷の文化探訪

飯田市指定天然記念物

遠山土佐守一族墓碑裏方杉の木

南信濃和田1198 龍淵寺境内

戦国時代から江戸時代前期にこの地を領有した遠山一族の墓所を護るように立つ4本の老木です。樹高約50m、樹齢は推定400年です。一族の没落を惜しみ一族の霊を慰めるために、村人が植えたともいわれています。



歴史研だより

歴史研究所 ☎0265(53)4670

『古島敏雄著作集』100セット限定復刊

飯田市出身の農業史学者古島敏雄氏(1912~95)が遺した農村史、農業技術史研究における孤高の業績は、『古島敏雄著作集』全10巻に収められていましたが、長期にわたり絶版となっていました。

歴史研究所では、古島氏の没後10年を迎えた今年、100セット限定で復刊します。市民、学生、研究者の協働によって行方飯田・下伊那地域の歴史研究にも『著作集』は大きな役割を果たすと考えます。

ご希望の方はお問い合わせください。

発売開始 11月2日(水)

購入者特典

1 『古島史学の現在』

購入者全員に贈呈。旧刊付録の月報を再録。更に現在の歴史研究者による新原稿も収録。

2 『私たちに刻まれた歴史』

古島氏の没後、当時の門下生らが執筆した追悼文集。非売品。限定先着35冊まで贈呈。



体裁

A5判上製本 1セット全10巻(専用箱に収納)

販売価格50,000円

発行(勸東京大学出版会 発売 歴史研究所)

開所時間 午前9時~午後5時

休所日 日・月曜日、祝日

歴史研究所では、歴史資料を調査、収集、保存しています。所内には閲覧・交流スペースを設け、収集した資料をご覧いただけます。お気軽にご利用ください。

文化ガイド

飯田文化会館 ☎0265(23)3552

「竹田人形館 特別企画」

霜月人情噺の宴 (しもつきにんじょうはなしのうたげ)

竹田人形座は、その卓越した技で日本人の美と心を表現してきました。日本の話芸もまた、豊かな情景を描き出し、我が国特有の文化として確立しています。



今回、古典本格派であり創作文芸落語の立川談四楼さんをお迎えし、心に染み渡る人情の世界を人形師竹田喜之助の名品とともに楽しみいただきます。秋の夜長、じっくりと至芸の競演をご堪能ください。

11月23日(水) 第1回15:30~第2回18:30~
竹田扇之助記念国際系操り人形館

演目 第1回「ねずみ穴」、第2回「富久」
定員 毎回60人
チケット 各回 2,000円(人形館観覧料を含む)
問合せ 竹田人形館 電0265(23)4222



「第29回おいでなんしょ寄席」

二代目橘家圓十郎 襲名披露公演

11月28日(月) 開演18:30
飯田市公民館ホール

山本出身、橘家圓十郎の真打昇進、襲名披露です。

出演 橘家圓十郎、橘家圓蔵、橘家竹蔵、橘家富蔵、あした順子・ひろし

チケット 3,500円(全席自由)

プレイガイド 市内平安堂各店/飯田サティ/ジャスコ飯田店/アピタ高森店/南信州新聞社/飯田市公民館/飯田文化会館

「名古屋フィルハーモニー交響楽団」 ニューイヤーコンサート2006

18年1月14日(土) 開演18:30
飯田文化会館ホール

チケット S席5,000円 A席一般3,500円
A席高校生以下2,000円(全席指定)

11月9日(水)より一斉発売!

飯田市の人口(10/1現在) 人口=108,247人(前月比+2,801)男51,867人/女56,380人 世帯=37,289戸(前月比+1,193)

発行・編集:飯田市役所企画部情報推進課 / 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 TEL.0265(22)4511 FAX.0265(53)4511 インターネット <http://www.city.iida.nagano.jp/>



古紙配合率100%白色度70%の再生紙



大豆油インキを使用し、環境に配慮した広報紙作りに努めています。

[広報いいだ] 2005.11.1